



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社プラザクリエイイト本社
 コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 黒部 一仁
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3532-8812

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,192	10.5	306		297		287	
2019年3月期第1四半期	4,696	2.5	311		303		318	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 288百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 319百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	22.42	
2019年3月期第1四半期	24.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	11,813	1,919	16.2	149.71
2019年3月期	13,392	2,297	17.2	179.22

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,919百万円 2019年3月期 2,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		7.00	7.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想の修正の有無: 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	8.0	550		550		550		
通期	24,000	1.1	250	5.4	250	0.0	150	76.0	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	13,836,258 株	2019年3月期	13,836,258 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,016,701 株	2019年3月期	1,016,701 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	12,819,557 株	2019年3月期1Q	12,869,710 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループはモバイル事業の継続的成長と、パレットプラザをはじめとしたプリント事業の変革に積極的に取り組んで参りました。

モバイル事業といたしましては、携帯電話の端末代金と通信料金の分離等を義務付けた法改正や解約料の上限ルールなど、今秋の施行に向け、事業環境の大きな変化を迎えるなか、店舗における接客マナーや生産性の向上に注力し、売上、収益および販売台数ともに、順調に推移いたしました。

一方、新たな企業による携帯キャリア事業への参入や、5G（第5世代移動通信システム）化などの外部環境の大きな変化を好機ととらえ、出店の加速を推し進めるなかで、出店数に対応する人員不足の状況を踏まえ、質の高いサービスが継続して提供できるよう、人材の新規採用ならびに教育を一層強化にも努めてまいりました。

プリント事業におきましては、デジタルプリントの自社工場が稼働したことを受け、当社グループの強みであるパレットプラザの店舗網とデジタル技術を融合させ、2019年5月にはチーム向けオリジナルパレル事業“W e T y（ウィーティー）”をリリースする他、翌6月には株式会社サンリオ様の「ちゃんりおメーカー」にて自作したキャラクターからオリジナルグッズが作成できるアプリサービス“ちゃんりおグッズストア”の全面リニューアルを行い、ユーザーがアプリを通じ、多種多様なアイテムにより、世界に一つのオリジナルグッズを作成することが可能になるなど、オンラインサービスメニューの充実にも努めてまいりました。

ショップ事業におきましては、前期より積極的に推進してまいりました、パレットプラザ事業の直営店からのフランチャイズ化は、当第1四半期連結累計期間にて112店舗となり、直営運営事業から卸売事業への方針転換により、生産性の向上および組織のスリム化を図ってまいりました。

2019年春より独占販売契約を締結しておりますロボタイム社（本社：中国蘇州）の海外向け人気のクラフトキットである、ミニチュアハウス、3Dウッドパズルのコースターシリーズ『つくるんです』において、他企業との協業による取り扱い店舗が増加した結果、シリーズ合計出荷数が、販売開始から10カ月で17万個を突破いたしました。今後はさらなる取り扱い店舗の拡大および製品バリエーションの拡充に努めて参ります。

その他、より広い「デジタルプリント」へと領域を拡大することを目指し、今期から、“小売業”から“企画会社”へと業態を一新する方針に併せ、オフィスリニューアルなども含めた環境整備にも努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、51億92百万円（前年同期比10.5%増）となり、営業損失3億6百万円（前年同期：営業損失3億11百万円）、経常損失2億97百万円（前年同期：経常損失3億3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億87百万円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失3億18百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①プリント事業

当第1四半期連結累計期間のプリント事業においては、パレットプラザの直営運営事業から卸売事業への移行によって売上高は14億78百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント損益は、2億59百万円の損失（前年同期：2億99百万円の損失）となりました。

②モバイル事業

当第1四半期連結累計期間のモバイル事業においては、店舗数拡大に伴う販売台数の積み上げなど堅調に推移したほか、1ユーザーあたりの単価が業績に寄与し、売上高は37億13百万円（前年同期比16.9%増）、一方のセグメント損益は、前連結会計年度より出店数が約10%（93店舗から106店舗）増加したことによるコスト増の影響により26百万円の損失（前年同期：18百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産の額は118億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億78百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が5億13百万円、受取手形及び売掛金が7億77百万円、その他流動資産が2億62百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債の額は98億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が11億25百万円、賞与引当金が64百万円、その他流動負債が93百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の額は19億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億78百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失2億87百万円、配当金の支払額89百万円

などにより利益剰余金が3億77百万円減少したことなどによるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の17.2%から16.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,153,745	640,621
受取手形及び売掛金	2,179,030	1,401,635
商品及び製品	1,807,747	1,737,811
原材料及び貯蔵品	146,284	138,752
その他	1,230,873	968,164
流動資産合計	6,517,681	4,886,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,486,294	2,538,871
減価償却累計額	△993,224	△1,003,753
建物及び構築物（純額）	1,493,070	1,535,118
機械装置及び運搬具	2,158,757	2,085,914
減価償却累計額	△2,027,000	△1,960,867
機械装置及び運搬具（純額）	131,756	125,046
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	2,013,334	2,013,569
減価償却累計額	△977,005	△1,066,745
リース資産（純額）	1,036,329	946,824
その他	999,860	1,073,226
減価償却累計額	△728,771	△714,167
その他（純額）	271,089	359,058
有形固定資産合計	4,443,495	4,477,297
無形固定資産		
のれん	71,091	71,861
リース資産	191,380	173,300
その他	219,585	244,247
無形固定資産合計	482,057	489,409
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,655,796	1,672,696
その他	305,684	299,747
貸倒引当金	△12,289	△12,289
投資その他の資産合計	1,949,191	1,960,153
固定資産合計	6,874,743	6,926,861
資産合計	13,392,425	11,813,846

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,858,296	732,757
短期借入金	3,561,635	3,616,525
リース債務	488,758	468,252
未払法人税等	12,773	3,193
賞与引当金	123,281	59,258
その他	1,297,565	1,203,830
流動負債合計	7,342,310	6,083,816
固定負債		
長期借入金	2,196,762	2,354,397
リース債務	966,397	871,596
資産除去債務	208,017	210,511
退職給付に係る負債	96,534	91,953
長期預り保証金	238,696	234,391
その他	46,194	47,964
固定負債合計	3,752,602	3,810,813
負債合計	11,094,912	9,894,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,496
利益剰余金	1,290,226	913,081
自己株式	△322,509	△322,509
株主資本合計	2,296,213	1,919,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,299	147
その他の包括利益累計額合計	1,299	147
純資産合計	2,297,512	1,919,216
負債純資産合計	13,392,425	11,813,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,696,976	5,192,432
売上原価	3,152,216	3,487,496
売上総利益	1,544,759	1,704,935
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	156,823	284,208
給料手当及び賞与	506,419	522,931
賞与引当金繰入額	62,644	59,141
雑給	245,946	207,392
賃借料	308,975	284,452
のれん償却額	11,284	12,086
その他	564,053	641,158
販売費及び一般管理費合計	1,856,146	2,011,371
営業損失(△)	△311,387	△306,436
営業外収益		
受取利息及び配当金	792	645
協賛金収入	17,356	15,623
償却債権取立益	1,800	5,800
その他	6,898	5,283
営業外収益合計	26,848	27,352
営業外費用		
支払利息	18,127	17,484
その他	1,262	1,361
営業外費用合計	19,390	18,846
経常損失(△)	△303,929	△297,929
特別利益		
固定資産売却益	1,999	144
受取補償金	—	34,000
特別利益合計	1,999	34,144
特別損失		
減損損失	14,352	13,496
店舗閉鎖損失	1,876	7,573
特別損失合計	16,228	21,070
税金等調整前四半期純損失(△)	△318,158	△284,855
法人税、住民税及び事業税	3,305	3,193
法人税等調整額	△2,559	△640
法人税等合計	745	2,552
四半期純損失(△)	△318,903	△287,407
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△318,903	△287,407

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
四半期純損失（△）	△318,903	△287,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△311	△1,152
その他の包括利益合計	△311	△1,152
四半期包括利益	△319,214	△288,559
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△319,214	△288,559
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,520,637	3,176,338	4,696,976	4,696,976	—	4,696,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,520,637	3,176,338	4,696,976	4,696,976	—	4,696,976
セグメント損失(△)	△299,939	△18,346	△318,286	△318,286	6,898	△311,387

(注) 1. セグメント損失の調整額6,898千円には、セグメント間取引消去額700千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△93,401千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額99,600千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において3,456千円、「モバイル事業」において10,896千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,478,708	3,713,723	5,192,432	5,192,432	—	5,192,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,478,708	3,713,723	5,192,432	5,192,432	—	5,192,432
セグメント損失（△）	△259,441	△26,307	△285,749	△285,749	△20,687	△306,436

(注) 1. セグメント損失の調整額△20,687千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△96,827千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額76,140千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失（△）と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において12,230千円、「モバイル事業」において1,265千円であります。